

# おやこ大学だより

2015年度 12号 (2016. 3. 1) Vol.58

## ごあいさつ



2016/2/10、獨協大学天野貞祐記念館にて「乳がんの早期発見と予防」を開催しました。講師の持田豊子さんは、乳がんと向きあったご自身の葛藤と心の支えとなったご家族の日々をお話してくださいました。その経験から乳がん体験者の集いの場である「あけぼの会」の埼玉支部を開設され、支部長を務められています。受講者は他人事ではなく、発病する可能性があることを強く意識しました。早期発見のための検診がいかに重要であるかを理解しました。



## 「桃の節句」



もともとは中国から伝わった行事ですが、日本に入ってきてから独自の祝い方へと発展してきました。人形を身代わりとして邪気を祓う儀式は、やがて雛人形を飾って愛でるというように変化してきたようです。色とりどりのちらし寿司、うしお汁、菜の花のおひたしなど、春色満載の献立でお祝いしたいですね。

### ～～ お内裏様とお雛様の位置 ～～

我が家では、向かって左がお内裏様です。ところがこちら側にお雛様という場合も見かけます。これは京風か関東風かで異なるとのこと。古式にのっとった京風ですと、向かって右がお内裏様。どちらに飾ったとしても間違いではないということになりますね。

### ～～ ひな祭りのお菓子 ～～

定番のお菓子といえば、「菱餅」と「ひなあられ」です。緑、白、桃色の配色が美しいですね。私はひな祭り工作をするのですが、色の順序覚えておくための方法として、「大地(緑)に雪(白)、そこに桃の花(桃色)が咲く」と言葉に出して言ってみて、下から、緑、白、桃色と重ねることにしています。この三色の画用紙をひし形に切ってつなげて飾るだけで、桃の節句感が倍増します。男の子のお宅でもいかがでしょう。



## 卒業式



獨協大学でも3月20日に行われます。保育園、幼稚園、小中学校、高等学校と子どもたちも成長の節目を迎え、本人はもちろんのこと、見守ってきた周囲にとってもいろいろな感情が溢れてくることでしょう。子どもの支援は、この節目と節目の継続性を保ちつつ、いかに連動させていくかが重要になります。そのために、各機関が連携を強めて子どもたちをサポートすることが求められています。当センターも、その役割を担う機関として活動していきたいと思っています。来年度もご協力、よろしくお願いいたします。



### ♪ 獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターからのお知らせ♪

#### イベントのお知らせ

今年度のイベントは終了しました。

#### 専門相談のお知らせ

2016年3月9日(水) 10時～13時 林 恵津子先生(埼玉県立大学准教授、臨床発達心理士)  
2016年3月22日(火) 10時～13時 今野 義孝先生(文教大学、臨床心理士)

※すでに定員一杯でキャンセル待ちとなる場合があります。お問い合わせください。

お問い合わせ・投稿はこちらまで  
獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター  
〒340-0041 埼玉県草加市松原1-1-10 TEL.048-946-1781 FAX.048-946-1782  
E-Mail: kodomolc@dokkyo.ac.jp

子どもに関する相談(無料) 月～金 9時～17時 048-946-1771  
※祝日はお休み